

ながおか 市政だより

1994
8

No.480



主な内容

- 福祉施設の充実(P2)
- 共同受注グループ発足(P3)
- 非核平和特集(P4・5)
- 特集・救急法(P6・7)

アメリカ独立記念日を祝い、フォートワースの空を染め上げた長岡花火。そのすばらしさに魅了された観客の心にもきっと、長岡との友好の輪が広がったことでしょう。(関連記事3ページ。写真は長岡市国際交流協会提供)



北米原産で明治の中ごろ渡来した多年草。
花期は夏で黄金色の花をつけ、庭園などに植えられていたが自然繁殖し、海辺や川岸に野生化した。
近年は高速道路の法面などで見かけ、近縁種のキンケイギクは一年草である。
花ことばは「いつも機嫌がいい」。

NAGAOKA
ナガオカ
スイチャー
スコープ
8月 自然観察^⑧



夏の河原からビヨ・ビヨ・ビヨ…とチドリの声が聞こえる。河原に産卵し、ヒナを育てるこのチドリは、中流域を代表する鳥である。
信濃川では長岡付近が一番下流の繁殖地であったが、最近はほとんど姿を見なくなってしまった。河原の鳥が少なくなってきた。

オオキ、ケイギク。

イカルテドリ。



成人病に
ならないために^⑧

「脳卒中」とその予防

脳卒中は大きく二つに分けられます。一つは血管が破れて起こる出血(脳出血、くも膜下出血)、もう一つは血管がふさがって起こる脳梗塞(脳軟化症)です。

脳卒中は①今まで元気だった人が突然発病する②身体の片側に症状が起こるという特徴があります。例えば、急に右手、右足が動かなくなるというように。

これに反して、両手や両足が動かなくなるのは、脳卒中というよりは頸や腰の脊髄からくる症状と考えてよいでしょう。

また、発症すると治療はなかなか困難ですので、何よりも予防が大切です。ふだんから血圧に注意し、尿や血液の検査をこまめに行い、かかりつけの医師とよく相談することが重要です。自分の血圧やコレステロ

ール値などをしっかりと覚えておくことが病気に关心を持つことにもなって有意義でしょう。

脳卒中で倒れた場合、昔は動かしてはならないといわれていましたが、それは誤りです。一刻も早く救急車で病院に運び、専門医の診断を受けることが大切です。

ぼけないための
ワンポイントアドバイス
ぼけには治療法はありません。日常生活の中で予防しましょう。

- ・頭を使う(読書、日記)
- ・家に閉じこもらない
- ・趣味、スポーツ、ボランティア活動など楽しみや生きがいを持つ
- ・いつも人の立場を考え、気配りや感謝の気持ちを忘れない
- ・会話を絶やさず、喜怒哀楽を素直に表現する
- ・手指、足先をこまめに動かす

(長岡市医師会)



スウェーデンの国民画家 カール・ラーション展
CARL LARSSON

8/27(土)~9/25(日)

9:00~17:00(月曜休館)
一般800円、大学・高校生600円、小・中学生400円
(前売券は200円引き)

9/4(日)
14:00~
講演会「カール・ラーションへの旅」
講師…荒屋鉢 透さん
(三重県立美術館主任学芸員)

9/10・24(土)
14:00~15:00
作品鑑賞会

8/28、9/4・18(日)
10:00~11:30
親と子のギャラリートーク

対象…小・中学生とその保護者
定員…各10組(先着順)
申込み…はがきに住所、氏名、電話番号
を明記し、県立近代美術館〒940宮関
町字居掛278の14 ☎28・4113へ



▼「フリータと私」1895年

カール・ラーションは、北欧ス
ウェーデンを代表する画家です。
彼は苦學のちフランスで学び、
水彩画家として出発しました。帰
國後、ストックホルム西方の田舎

に移り、温かい家庭生活や家族の
肖像、詩情あふれる田園風景を描
き、スウェーデンの国民画家とし
て親しまれました。日本には「わ
たしの家」という絵本で紹介され
ています。

彼は、「日本は芸術家としての
私の祖国」というほど、ジャボニ
スム(日本趣味)に強い関心を持
ち、水彩画の線描や色彩にその影
響を見ることがあります。

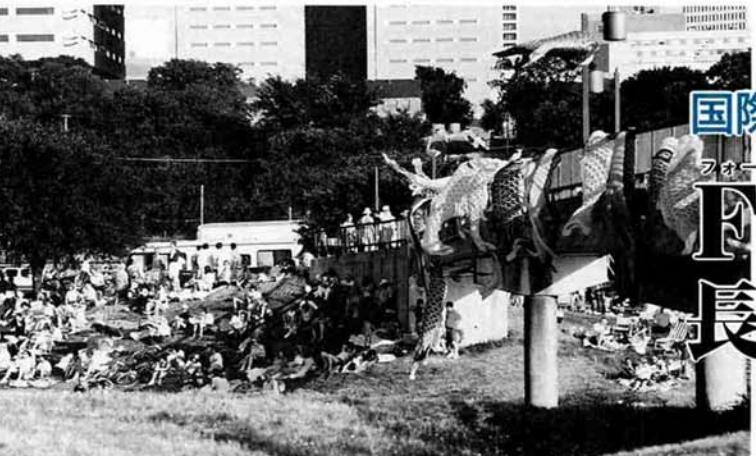
THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART
県立近代美術館

NOM

No.17
カール・ラーション展

▼明るいうちに集まりだした見物客。長岡市民から贈られた鯉のぼりも所々に飾られ雰囲気を盛り上げた

►七夕の日、短冊に「病気をしないでがんばります」と願いを書き、歌をうたって祝った
(7月7日もみの木工房分場で)



国際交流

フォートワース

FWの空を染め上げた 長岡花火

アメリカ独立記念日の7月四日、長岡花火が姉妹都市フォートワースで打ち上げされました。長岡まつりで感動したみんなの「豪快な長岡の花火をぜひフォートワースで」という声がきっかけで、姉妹都市締結七周年の今年、両市の実行委員会の努力によって実現したものです。

当日は、フォートワースの中心部を流れるトリニティ川で、約三千発（大型二十七台）の花火が打ち上げられ、見物客を魅了しました。バーベキューを楽しみながら花火を見賞する人、ラジオを聞きながら車のなかやビルの上からながら見る人など、楽しみ方もいろいろだったようです。

一つ花火が上がるたびに大きな歓声と拍手が沸きあがり、長岡からの訪問団に握手を求めてくる人もありました。また、この様子はテキサス州の有線テレビやFMラジオで実況され、翌日の地元新聞の一面でもカラーで紹介されました。

フォートワースの姉妹都市協会事務局には、「長岡の人

アメリカ独立記念日の7月四日、長岡花火が姉妹都市フォートワースで打ち上げられました。長岡まつりで感動したみんなの「豪快な長岡の花火をぜひフォートワースで」という声がきっかけで、姉妹都市締結七周年の今年、両市の実行委員会の努力によって実現したものです。

当日は、フォートワースの中心部を流れるトリニティ川で、約三千発（大型二十七台）の花火が打ち上げられ、見物客を魅了しました。バーベキューを楽しみながら花火を見賞する人、ラジオを聞きながら車のなかやビルの上からながら見る人など、楽しみ方もいろいろだったようです。

一つ花火が上がるたびに大きな歓声と拍手が沸きあがり、長岡からの訪問団に握手を求めてくる人もありました。また、この様子はテキサス州の有線テレビやFMラジオで実況され、翌日の地元新聞の一面でもカラーで紹介されました。

フォートワースの姉妹都市協会事務局には、「長岡の人



共同受注グループ が発足

不況対策

厳しい経済環境のなかにある中小企業の不況対策の一ひととして準備が進められてきた「共同受注グループ」がこのたび結成されました。

これは、設計、加工、組立て、鋳物、板金など異なる業種の企業がグループをつくり、それぞれ得意な分野を補い、あうことでの新たな需要を開拓しようという試みです。これによって、これまで一社では対応できなかつた様々な注文に即応できる体制を整えることができます。

この共同受注グループが成

立て、これまでの不況対策のひととして準備が進められてきた「共同受注グループ」がこのたび結成されました。これは、設計、加工、組立て、鋳物、板金など異なる業種の企業がグループをつくり、それぞれ得意な分野を補い、あうことでの新たな需要を開拓しようという試みです。これによって、これまで一社では対応できなかつた様々な注文に即応できる体制を整えることができます。

これが何よりも大切です。市と商工会議所がそれぞれのグループに分け、役員、会則などを決めました。今後は事業計画を決定し、具体的な受注に向け、事業を展開していくことになります。

赤井助役が六月三十日付けて退職し、後任として、西津政信新助役が七月一日に就任しました。西津助役は、前任が建設省建設経済局国際課長補佐。市では企画調整部、都市整備部、土木部と工事検査室を担当します。

西津新助役を
ご紹介します



►「新しい分野に挑戦したい」
そんな声も聞かれた（設立総会で）



►明るい雰囲気の食堂で
楽しく会話をしながらの食事
(7月11日ケアハウス西長岡で)



福祉施設の充実

もみの木工房の分場と ケアハウス西長岡がオープン

精神薄弱者小規模作業所

「もみの木ホーム」（東新町一丁目）が、隣接する通所授産施設「もみの木工房」の分場として七月一日再出発しました。これは民間運営の「ホーム」を社会福祉法人の「工房」の一部として整備・支援することで、通所者の待遇改善、施設運営や職員身分の安定、保護者負担の軽減をはかるうというものです。

このたび分場化に伴い、給食室や食堂などが増改築され完全給食となりました。また定員外の通所者のための作業室「たんぽぽ」も開設されています。

分場には現在、十九人が自宅から通り、毎日生活訓練や作業訓練を続けています。主な作業は金具の組み立てで、工賃はたとえわずかでも、自立をめざし、みんな一生懸命

完全給食となりました。また定員外の通所者のための作業室「たんぽぽ」も開設されています。

分場には現在、十九人が自

宅から通り、毎日生活訓練や作業訓練を続けています。主な作業は金具の組み立てで、工賃はたとえわずかでも、自立をめざし、みんな一生懸命

完全給食となりました。また定員外の通所者のための作業室「たんぽぽ」も開設されています。

作業をしています。

一日の楽しみは、やっぱり給食です。「給食となつたことを子どもたちがとても喜んでいます。栄養のバランスもいいし、これまで小食だった子もほとんど残さず食べていますよ」と指導員の鈴木さん。

分場では、作業の合間も、給食のひとときも楽しいおしゃべりと笑い声が絶えません。

とはいっても介護が必要になる場合もあります。

そんなときはホームヘルパーの派遣やデイサービスなどの在宅サービスを利用することも、病気やけがなど緊急時には提携病院が対応してくれます。部屋は個室で、一日三回の食事、入浴、生活相談などが主なサービスです。

散歩や買い物など外出はも

ちろん自由。「交通の便がよくなり、まちに出かけるにも便利です。食事の心配がいらないです。病院がすぐ近くにあるから安心ですね」というのは、

もちろん自由。「交通の便がよくなり、まちに出かけるにも便利です。食事の心配がいらないです。病院がすぐ近くにあるから安心ですね」というのは、

夫婦で入所している保坂さん。

ケアハウスは自立を支援する新しいタイプの老人ホームです。長岡市が推進する福祉

コミュニティ構想でも、今後には自分のことは自分でできる

施設整備を進めていくことに

しています。

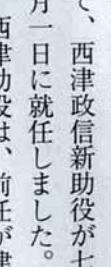
赤井助役が六月三十日付けて退職し、後任として、西津政信新助役が七月一日に就任しました。

西津助役は、前任が建設省建設経済局国際課長補佐。市では企画調整部、都市整備部、土木部と工事検査室を担当します。

西津新助役を
ご紹介します



西津新助役を
ご紹介します



ドキュメント

こうして
朗子さんは救われた

あなたも教えます。

市政だよりを読むあなたの隣で、突然家族が倒れたらどうしますか？

大切な人の命

水遊びが楽しい夏。けれども、毎年発生する、たくさんの水による事故。また、交通事故や過労からくる心臓発作など、私たちの命を脅かすものは後を絶ちません。消防署では、市民の命を守るために

今年の初め、急性心筋梗塞でいたたんは呼吸と心臓が停止した田中朗子さんの救命劇「ドキュメント・こ

うして朗子さんは救われた」。その

舞台裏には、娘の憲子さんの活躍が

ありました。

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

